

2017 Wako's

Super Kart Race Report

開催コース／筑波サーキット（茨城県）
主催／日本スーパーカート協会
開催日／11月5日（日） 天候／晴れ
路面状況／ドライ



SK1 表彰式



SK2 表彰式



SK4 表彰式

WAKO'S スーパーカートカップ第9戦

いよいよ今回が最終戦。全9戦で開催されてきた2017シーズンもついに終わりを迎える。

SK 4クラス以外、最終戦を待たずしてタイトルはすべて決定済みで、SK1は吉野義弘、SK2は藤木章二が新チャンピオンとなっている。残すSK4クラスも今回、ランキング2位の常盤秀樹がエントリーしなかったことから、ポイントリーダーの寶田雅一へと確定した。

新チャンピオンに一矢報いるべくレースは白熱したバトルが勃発。とくにSK1では予選トップの保立翔が絶好調の走りをみせると圧倒的リードでのポール to ウィンで今季二勝目を挙げた。SK2は岩崎浩二と山崎尚樹のマッチレースとなり、最終コーナーで仕掛けた岩崎が逆転に成功して最後のウィナーに輝いた。



最高でしたと保立。見事なポール to ウィン！



最終コーナーで仕掛けて逆転したSK2 岩崎浩二



SK4クラスの新チャンピオンは寶田雅一に



大王こと吉野義弘はエンジン焼き付きで4位に

2017 文部科学大臣杯 JAPANKART CUP with HDX

開催コース/筑波サーキット (茨城県)
主催/日本スーパーカート協会
開催日/11月5日
天候/晴れ 路面状況/ドライ
Report&Photo/月刊 JAPAN KART



◀▼総合トップを獲得したのはYZ125クラスに参戦するファクトリークラモチ。今回の勝利はセッティングとレース戦略がハマったことが大きかったと言う



▲ HDX オープンの佐藤那未はスタートでエンジンをかぶらせて苦しい展開となる。それでも3位まで登り詰めるところはさすがだ



▲ HDX 総合ランクはKT100クラスの岡本義晴と佐藤那未が同ポイントで並ぶが、レース参戦数で上回る岡本がランキングトップとなった



▲ HDX 総合ランキングトップとなった岡本義晴。麻痺のある身体とは思えない素晴らしい走り



▲ YZ85クラス優勝のTR☆彡 Racing!+BUNAN。YZ85エンジンは未だ健在だ!

最 終戦は6クラス22チームによって競われた。決勝日は朝から秋らしい爽やかな天候に恵まれ、最高のコンディションのもと、10時40分にスタートが切られる。

優勝候補筆頭のHDXオープンクラス、佐藤那未がスタートで失敗したことで下位に沈むと、変わってレースをリードしたのがYZ125クラスのカレー茶畑だ。それを追うのが同じくYZ125クラスのファクトリークラモチで、この2チームによるトップ争いが続くという展開に。

レースも終盤に差し掛かる頃、逆転に成功したファクトリークラモチは、そのまま逃げ切り51周を走破してのファーストチェッカー。総合優勝をその手にした。

なお、ファクトリークラモチは今回の勝利でランキングも2つ上がり、YZ125クラスのタイトルも獲得する快挙となる。2位にはカレー茶畑、3位は見事な追い上げで登り詰めてきた佐藤が入った。以下、4位にYZ85クラスのTR☆彡 Racing!+BUNAN、5位にはWR250クラスのADVANでるてるレーシングが続いた。